

環境取り組みプランと活動結果

1995年3月より環境取り組みプランを策定し、2006年度より第4次環境取り組みプランとして2010年度末までに達成すべき目標を掲げ活動を進めています。

第4次環境取り組みプラン (2006年度～2010年度)

行動指針	取り組み項目	主な取り組み内容
(1) 総合的な環境マネジメントの推進	◆全社統合システムの実施運用 1) 環境マネジメントシステムの実施運用 2) 事前検討制度の充実、強化 3) 環境パフォーマンスの向上	◆重大不適合“0”、異常苦情“0”をめざす ・目的・目標、環境保全推進計画の実施及び目標達成 ・教育、訓練の充実による汚染の未然防止 ・事前検討制度を利用した違法の確実化 ・法令違反、苦情、発生源異常“0”
(2) 地球温暖化防止対策の推進	◆CO ₂ 排出を極力抑えた事業活動 1) TPSと連動したCO ₂ 低減 2) 省エネルギー活動 3) 少エネルギー化の展開	◆CO ₂ 総排出量の低減 ・CO ₂ 総排出量を2010年度末までに成行き比16%減 ：2010年度排出量目標 37,000 t-CO ₂ /年 ：2010年度原単位目標 156 t-CO ₂ /億円 ・工場、各部署の個別テーマ選定による活動展開 ・事前検討と連携した設備導入時からの少エネルギー活動の展開
(3) 資源有効利用の促進	◆知恵と工夫で廃棄物低減、省資源の推進 1) ゼロエミッションの継続 2) 発生源対策、廃棄物レスの推進 3) 製品設計、設備設計段階からの廃棄物発生の抑制 4) TPSと連動した全廃棄物の低減	◆廃棄物総排出量の低減 ・廃棄物排出量を2010年度末までに2003年度比5%減 ・埋立廃棄物ゼロエミッションの継続 ・焼却廃棄物の低減 ・社外リサイクル廃棄物の低減 ・有価物(スクラップ)の低減
(4) 環境負荷物質の使用量低減 (PRTR法対象)	◆PRTR法対象物質の使用量低減と適正管理 1) 事前検討によるPRTR法対象物質の低減 2) 環境負荷物質を使用しない製品への切り替え	◆PRTR法対象物質使用量 ・2010年度末までに2.5 tの低減
(5) 物流の環境負荷低減	◆CO ₂ 排出量の低減、梱包資材使用量の低減に向けた物流合理化の推進 1) 車輻CO ₂ の低減 2) 梱包資材の低減	◆車輻CO ₂ の低減 ・CO ₂ 排出量を2010年度末までに2005年度比 10%の低減 ◆梱包資材の低減 ・梱包資材を2010年度末までに2005年度比 10%の低減
(6) 仕入先の活動充実	◆大豊仕入先環境ガイドラインの設定と定着化 ◆グリーン調達推進 (原材料・副資材・消耗品等のグリーン調達対象品の購入)	
(7) 社会貢献活動の推進	◆地域の環境行事、緑化活動、ボランティア活動等への支援を積極的に推進	
(8) 広報活動、情報開示の推進	◆各工場での環境コミュニケーション活動の充実 ◆環境社会報告書の発行と情報開示	
(9) 従業員への教育、啓発活動	◆各種環境教育の実施と充実 (新入社員、中途採用者、環境保全構成員、設計者、専門教育、内部監査員教育等)	

環境教育

環境教育の充実

従業員の環境保全意識を向上させるため、教育・啓発活動を積極的に行っています。2008年度は技術部門一般従業員を対象とした教育を行い、112名が参加しました。また、啓発活動として社内報で環境に関する記事を連載し社内配布しました。環境重要設備を持つ職場では緊急時に備えた訓練を計画的に実施しています。

■ 教育体系

対象者	主な教育内容
新入社員	環境問題の概要、社内での環境への取り組み
生産部門	環境重要設備の維持管理、緊急対応訓練、環境方針 など (配属時)
事務・技術部門	環境に配慮した製品・設備設計、環境方針 など (配属時)
環境保全組織構成員	環境管理マニュアル・規程類



環境に関する連載記事 (2007年9月から全7回掲載)

2008年度の活動結果について、第4次取り組みプランに沿って報告いたします。

2008年度の活動結果

行動指針	取り組み項目	活動結果（実績）
(1) 総合的な環境マネジメントの推進	◆全社統合システムの実施運用 1) 環境マネジメントシステムの実施運用 2) 事前検討制度の充実、強化 3) 環境パフォーマンスの向上	◆全社統合システムの実施運用 ・ISO14001審査での重大な不適合0件 ・新規設備、副資材の事前検討件数233件 ・大気、水質、騒音、振動の基準値オーバー0件
(2) 地球温暖化防止対策の推進	◆CO ₂ 排出を極力抑えた事業活動 1) T P Sと連動したCO ₂ 低減 2) 省エネルギー活動 3) 少エネルギー化の展開	◆CO ₂ 排出量 32,600 t-CO ₂ /年 ◆CO ₂ 排出量原単位 166 t-CO ₂ /億円 主な実施項目 ・各部での個別テーマ活動（不良低減） ・省エネ創意工夫提案活動 ・ボイラーの燃料転換（重油から都市ガスへ）
(3) 資源有効利用の促進	◆知恵と工夫で廃棄物低減、省資源の推進 1) ゼロエミッションの継続 2) 発生源対策、廃棄物レスの推進 3) 製品設計、設備設計段階からの廃棄物発生の抑制 4) T P Sと連動した全廃棄物の低減	◆廃棄物総排出量 9,160 t/年 主な実施項目 ・埋立廃棄物のリサイクル化（ゼロエミッション継続） ・各部での個別テーマ活動（不良低減）によるスクラップ発生量低減
(4) 環境負荷物質の使用量低減（PRTR法対象）	◆PRTR法対象物質の使用量低減と適正管理 1) PRTR法対象物質の使用量低減 2) 環境負荷物質を使用しない製品への切り替え	◆PRTR法対象物質使用量 97 t 低減 主な実施項目 ・鉛フリー軸受の拡販 ・各工場小委員会活動による推進
(5) 物流の環境負荷低減	◆CO ₂ 排出量の低減、梱包資材使用量の低減に向けた物流合理化の推進 1) 車輻CO ₂ の低減 2) 梱包資材の低減	◆CO ₂ 排出量 334 t/年 主な実施項目 ・輸送ルートの特長による便数削減 ・パレットの材質変更によるリターナブル化
(6) 仕入先の活動充実	◆大豊仕入先環境ガイドラインの設定と定着化 ◆グリーン調達推進（原材料・副資材・消耗品等のグリーン調達対象品の購入）	主な実施項目 ・グリーン調達ガイドラインの運用 ・仕入れ先の環境自主活動の支援
(7) 社会貢献活動の推進	◆地域の環境行事、緑化活動、ボランティア活動等への支援を積極的に推進	主な実施項目 ・ボランティア委員会を事務局として社内外での活動（16件）
(8) 広報活動、情報開示の推進	◆各工場での環境コミュニケーション活動の充実 ◆環境社会報告書の発行と情報開示	主な実施項目 ・自治区との懇談会を開催（豊田市内4工場）
(9) 従業員への教育、啓発活動	◆各種環境教育の実施と充実（新入社員、中途採用者、環境保全構成員、設計者、専門教育、内部監査員教育等）	◆全社的教育的に関する計画実施率 100%

環境法令の遵守状況

法令遵守状況について

2008年度は環境法令に関わる基準値違反はありませんでした。
また、外部からの異常・苦情の申し入れもありませんでした。

法令遵守の取り組み

2008年度は「環境事故を絶対に起こさない」というキーワードを柱とし、各工場への展開を中心に環境事故の未然防止活動を徹底してまいりました。

各環境法令に関わる測定・分析も継続的に行っています。



未然防止の対策例
（廃液引取り口からの流出防止）



九州工場 工場長による点検